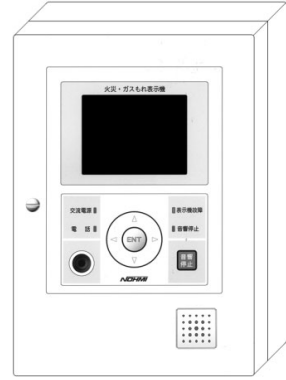


火災・ガスもれ表示機 取扱説明書 FIRJ008D-R



注意 ご使用前に、この取扱説明書を必ずお読みください。また、本文中に記載されている注意事項をよく読み、理解したうえでご使用ください。

- ・この取扱説明書はいつでも使用できる所に保管してください。
- ・この商品は定期的な保守点検を必ず行ってください。
- ・この取扱説明書の画面例はR-26シリーズ受信機と接続した場合の画面を表しています。他の受信機と接続した場合、表示内容が一部異なることがあります。



1. 安全にご使用いただくために

- ご使用前にこの「安全にご使用いただくために」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
- ここに示した注意事項は、製品を安全にお使いいただき、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。
- 危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、誤った取扱いをした場合に生じる内容を「警告」、「注意」の2つに区分しています。

「警告」： 取扱いを誤った場合、使用者が重傷や傷害を負うかまたは防災機能の一部に重大な悪影響を及ぼすことが想定される場合。
 「注意」： 取扱いを誤った場合、使用者が傷害を負うかまたは防災機能に悪影響を及ぼす可能性がある場合、および防災機能を長期にわたって有効に活用するうえで、ぜひ守ってほしい事項。

絵表示の見方

- ⚠ 左の記号は警告・注意を促す内容があることを告げるものです。
- 🚫 左の記号は禁止を告げるものです。
- ❗ 左の記号は行為を強制したり指示したりする内容を告げるものです。

2. 使用上の主なご注意

火災・ガスもれ表示機を安全にお使いいただくために、以下の点にご注意ください。

- 警告** 機器が故障したときは、速やかに保守点検契約先に連絡してください。故障を放置すると正常に機能しません。
- 警告** 保守点検者以外は本体内部に手をふれないでください。感電・故障のおそれがあります。
- 注意** 機器は必ず手で操作してください。手以外では確実な操作ができず、機器が破壊するおそれがあります。
- 注意** 各機器の正しい取り扱いを理解し、緊急時の使用に備えてください。緊急時の対応が容易になります。
- 注意** 本機は必ず定期点検を実施してください。この定期点検を怠ると火災時やガスもれ時に正常に機能しないおそれがあります。

3. 寿命部品の定期交換について

本システムを適正に維持するためには、寿命部品の定期交換が必要です。本システムに使用している電気部品・ユニットは、設置後の時間経過とともに劣化・磨耗していきます。システムを更新（リニューアル）まで適正に維持管理していただくためには、故障が発生した時点ではなく、予防保全の観点から定期的に寿命部品の交換（有償）をしていただき、計画的に実施していただきますようお願い申し上げます。

- 注意** 定期交換推奨年数はこの間の電気部品、および本システムの機能・性能を保証するものではありません。
- 注意** 定期交換推奨年数は取扱説明書どおりに使用し、良好な環境で使用した場合の推奨値です。
- 注意** 寿命部品以外の電気部品・ユニットについても、経過年数変化により劣化・故障は発生します。
- 注意** 寿命部品の交換を行う場合は、仕様や取り付け方法、設定方法に指定があります。当社CS部門(保守部門)または代理店・特約店にご用命ください。
- 注意** 寿命部品のモデルチェンジや生産中止によっては、代替品を用いることがあります。代替品の互換性によっては、対応するための加工などが必要になることがあります。
- 注意** 設置後年数が経つと、部品の生産中止が多くなり、寿命部品を含めた電気・電子部品の供給ができなくなることがあります。この場合には、システムの更新（リニューアル）が必要となります。

「寿命部品および定期交換推奨年数」一覧

名称	定期交換推奨年数
蓄電池（予備電源）	5年

4. 概要

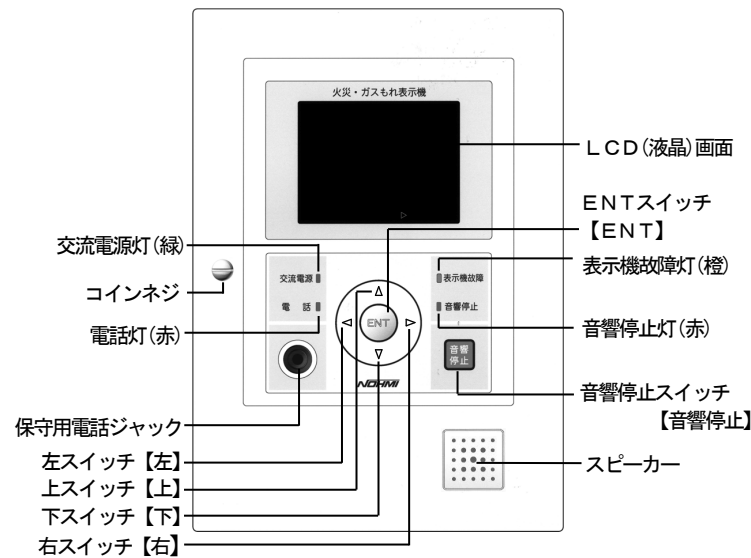
本機は、受信機と接続することにより、受信機で監視する火災・ガスもれ発生状況や、各種端末装置などの作動状況を、本機に表示することができます。受信機のない場所でも、受信機と同様な状況を表示して確認することができます。

5. 仕様

種別	メッセージ表示機
型名	FIRJ008D-R
主電源	AC100V±10%、50/60Hz
予備電源	密閉型蓄電池内蔵 DC9.6V 0.6Ah
回路電圧	DC3.3V
消費電力	平常時：最大約5VA、作動時：最大約6VA
接続可能受信機／主中継器	R-26シリーズ・R-24シリーズ・R-22シリーズ R-21・R-17 106シリーズ（P、GP型）・006シリーズ（G型、連動操作盤）
音響装置	スピーカー内蔵
液晶表示（カラーLCD）	火災地区表示 ガスもれ地区表示 端末装置作動地区表示 試験状態表示 表示機故障表示
環境条件	使用温度範囲 0℃～40℃ 使用湿度範囲 20%～85% RH（結露なきこと）
外形寸法	170（W）×240（H）×65（D）
質量	約1.1Kg

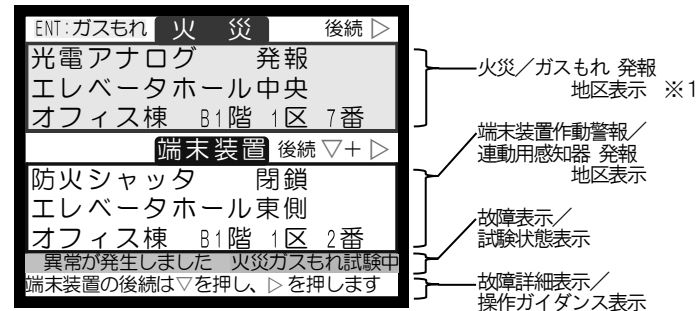
6. 各部の名称と機能

【外部（前面パネル）】



【】内の文字は、各スイッチの略称です。

表示機で確認できる内容

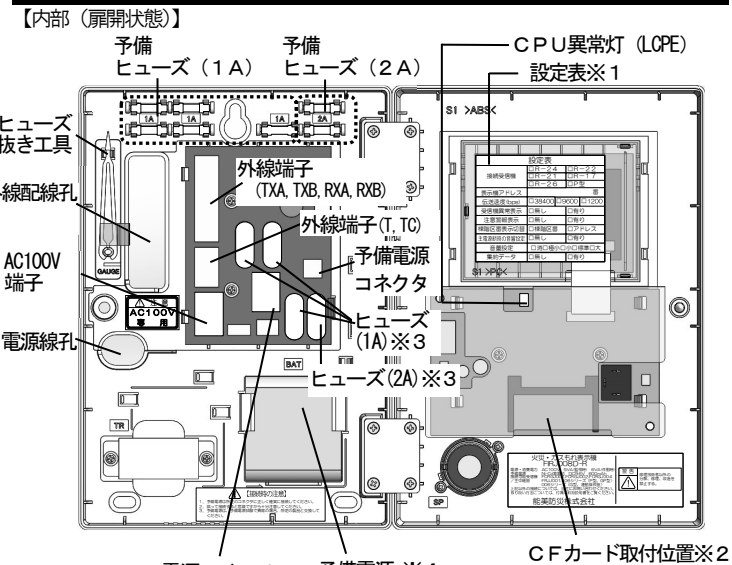


表示機の表示方法は通常全表示（受信機と同一表示）ですが、選択表示、集約表示を設定することもできます。※2（106シリーズ、006シリーズ以外）

- ・全表示（デフォルト設定値）・全点個別表示
- ・選択表示 ……部分的に選択表示
- ・集約表示 ……階別などの表示をまとめて表示

- ※1. 火災地区とガスもれ地区の表示エリアは兼用です。火災とガスもれが同時に発報した場合は【ENT】スイッチの操作で切り替えます。また設定により、火災表示部に注意警報の表示も可能です。（設定可能な受信機は、R-26シリーズ・R-24シリーズ・R-22MXA, LX, EX）
- ※2. 選択表示、集約表示においては、別途、データベースによる設定が必要になります。

7. 内部配置図



- ※1. LCD画面から設定した各種内容を設定表に記入してください。
- ※2. CFカードは通常運用においては使用しません。選択表示・集約表示時の集約情報のデータ書き込み等に使用します。
- ※3. ヒューズ交換を行う場合は、予備電源コネクタを基板から外し、電源スイッチをOFFにしてから作業を行ってください。ヒューズカバーを外し、本体に付属されているヒューズ抜き工具を使用し、交換してください。交換後は電源スイッチをONにして、予備電源コネクタを元に戻してください。
- ※4. 取扱説明書（本書）は予備電源下部に収納してください。

8. 平常時の監視状態確認

警告 表示機が正常状態にあるか、日頃から確認してください。正常状態にない場合は受信機で発生した情報を正しく表示できません。

日常は次の状態を確認してください。
 ●交流電源灯(緑)のみ点灯しています。（その他の表示灯は、すべて消灯しています）
 ※LCD画面は精度の高い技術で作られています。画面の一部に点灯しないドットや常時点灯しているドットがある場合があります。これは故障ではありません。

停電のときは

●停電時は、予備電源に切り替わり、交流電源灯が点滅します。また「主電源断時の音響設定：有り」（設定方法は、項目15機能設定メニューを参照）の場合、10秒周期で音響「ブツ」が鳴動し、停電であることを知らせます。（停電から回復した場合は自動的に音響は停止します。）

警告 予備電源は必ず取り付けておいてください。予備電源が取り付けられていないと停電時に機能しません。

9. 警報発生時の動作

火災警報

- ①火災発生場所を表示し、音響（ピー 火災発生）が鳴ります。
- ②火災が複数発生している場合は、後続▷を点滅表示し、④部に操作ガイダンスを表示します。
- ③ガスもれが同時に発生している場合は、ENT:ガスもれを表示し、④部に操作ガイダンスを表示します。



※「注意警報表示：有り」（設定方法は、項目15機能設定メニューを参照）の場合、注意警報表示が可能です。
 ※操作ガイダンスが複数ある場合は、3秒毎に自動的に切り替えて表示します。
 ※P型受信機で、種別名称を入れない場合、状態文字の左に空欄が入ります。

ガスもれ警報

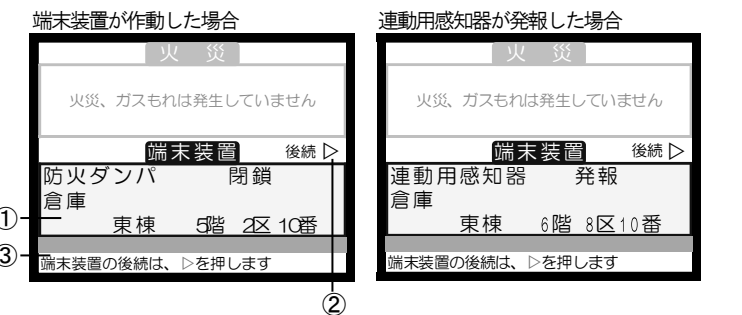
- ①ガスもれ発生場所を表示し、音響（ビビビビビ ガスもれ発生）が鳴ります。
- ②ガスもれが複数発生している場合は、後続▷を点滅表示し、④部に操作ガイダンスを表示します。
- ③火災と同時に発生している場合は、ENT:火災を表示し、④部に操作ガイダンスを表示します。



※操作ガイダンスが複数ある場合は、3秒毎に自動的に切り替えて表示します。
 ※P型受信機で、種別名称を入れない場合、状態文字の左に空欄が入ります。

端末装置作動警報、連動用感知器発報警報

- ①防火ダンパ閉鎖や、スプリンクラー放出、連動用感知器発報など、端末装置の種別・状態・場所を表示し、音響（ブー 端末装置が作動しました）が鳴ります。
- ②端末装置が複数作動している場合は、後続▷を点滅表示し、③部に操作ガイダンスを表示します。



※端末装置作動と連動用感知器発報が同時に発生している場合、端末装置を優先して表示します。
 ※P型の場合、棟階区番に回線やアドレスを表示します。
 ※P型受信機で種別名称、状態文字を入れない場合、端末装置作動が入ります。

10. 操作方法

音を止めるとき

- 各警報発生時の音響を停止するには、【音響停止】スイッチを押してください。（音響は一度停止しても、新たに警報が発生すると再度鳴ります。）

「後続▷」が表示されているとき

- 【右】を押すと、後続の警報を表示します。
- 【左】を押すと、1つ前の警報を表示します。

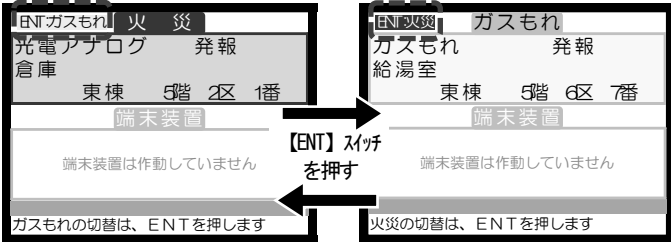
[火災（ガスもれ）と 端末装置 の両方に後続があるとき]

- 端末装置の地区表示部が水色の時に、火災（ガスもれ）の後続を確認する場合は、【上】で火災（ガスもれ）の地区表示部をピンク（ガスもれ表示時は黄色）にし、【右】で後続を表示してください。
- 火災（ガスもれ）の地区表示部がピンク（ガスもれ表示時は黄色）の時に、端末装置の後続を確認する場合は、【下】で端末装置の地区表示部を水色にし、【右】で後続を表示してください。

「ENT:ガスもれ」「ENT:火災」

が表示されているとき

- 火災警報とガスもれ警報が同時に発生しています。
- 火災警報表示時に【ENT】スイッチを押すことで、ガスもれ警報の1報目を表示します。また、ガスもれ警報表示時に【ENT】スイッチを押すことで、火災警報の1報目を表示します。



電話するとき

受信機側へ電話するとき

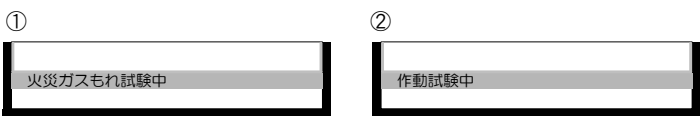
- 本機の電話ジャックに受話器を接続すると電話灯が点灯し、受信機で音響（ブルブルブルブル）が鳴ります。（ジャックを取り外すと音響が止まります。）
- 受信機で電話ジャックに受話器を接続すると、音響が停止し、受信機と通話が可能になります。

- 受信機から表示機呼び出しがあったとき（R-26、106 シリーズ、006 シリーズ以外）
- 本機の電話灯が点滅し、音響（ブルブルブルブルブルブル）が約10秒間鳴動し、自動的に停止します。鳴動中は音響を停止することはできません。
- 本機の電話ジャックに受話器を接続すると、電話灯が点灯し受信機と通話が可能になります。（鳴動中に電話ジャックを接続すると音響が停止します。）

11. 受信機での試験中表示

受信機にて試験を実施している場合は、次のように表示されます。

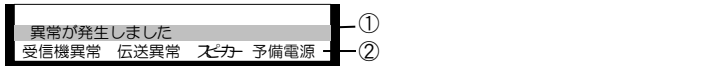
- 火災ガスもれ試験中は画面左下に①が表示されます。
- 作動試験中は画面左下に②が表示されます。



12. 異常時の動作

(1)受信機か本機に異常があったとき

- 「異常が発生しました」を画面下の①部、故障詳細を画面下の②部に表示し、音響（ブーブー 異常が発生しました）が鳴ります。
- 操作ガイダンスと故障詳細表示が同時に発生した場合、約3秒間隔で順次表示内容が切り替わります。
- 音響を停止するには、【音響停止】スイッチを押してください。



※「受信機異常表示設定：無し」（設定方法は、項目15機能設定メニューを参照）の場合、「受信機異常」は表示されません。

(2)表示機のCPUが異常の時

- 音響（ブーブー 異常が発生しました）が鳴ります。
- 【音響停止】スイッチでは、音響を停止することはできません。
- 本体内部のCPU異常灯（LOPE）が赤色で点灯します。

点検・施工される方へ

接続受信機が変更になった場合

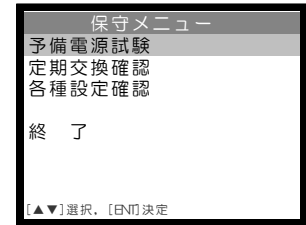
注意	接続受信機が変更になった場合は、必ず「 接続受信機設定 」にて『R-26』『R-24』『R-22』『R-21』『R-17』『P型』を正しく選択してください。正しく動作しません。
	また、R-21・R-22Mシリーズ・R-22Sシリーズに接続する場合は、「 棟階区番/アドレス表示設定 」は『アドレス』を、106シリーズ、006シリーズに接続する場合は『 棟階区番 』を選択してください。 施工後は必ず動作確認を行い、LCD画面が正しく表示することを確認してください。

13. 保守メニュー

「保守メニュー」の表示方法と操作可能な内容について

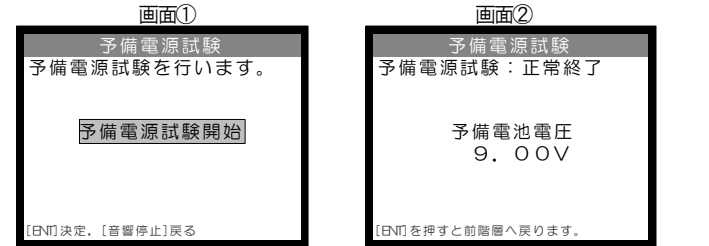
注意	設定後は必ず扉を閉じてください。扉が開いたままになっていると引っかけてけがをしたり、本機を破損する原因となります。
----	---

- 【ENT】スイッチを3秒以上押し続けると、「保守メニュー」の画面が表示されます。
- 【上】【下】でメニューを選択し【ENT】スイッチで決定します。



予備電源試験

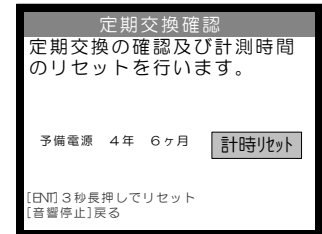
- 「予備電源試験」を選択して【ENT】スイッチを押すと、画面①が表示されます。続いて【ENT】スイッチを押すと試験を開始します。
- 試験中は電圧値と試験進捗状況(パーセント表示)を表示します。
- 試験が正常終了すると画面②のように試験結果と電池電圧を表示します。確認後【ENT】スイッチを押してください。



※試験が異常終了した場合は、異常終了の旨が表示されます。予備電源の劣化などが考えられますので、保守点検契約先に連絡してください。

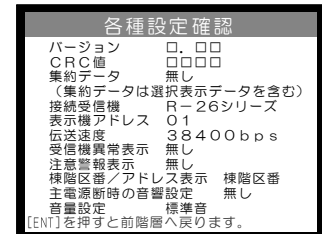
定期交換確認

- 「定期交換確認」を選択して【ENT】スイッチを押すと、下記のような画面が表示されます。計時リセットを行わずに戻るときは【音響停止】スイッチを押してください。
- 予備電源を交換した場合、【ENT】スイッチを3秒以上押し続けて計時リセットをしてください。
- 計時リセットが完了すると、年月をリセットします。確認後【ENT】スイッチを押してください。



各種設定確認

- 「各種設定確認」を選択して【ENT】スイッチを押すと、下記のような画面が表示され、本表示機の設定状態を確認できます。確認後【ENT】スイッチを押してください。



14. 保守音響停止

保守点検などで本機の音響を連続で停止するときには、【音響停止】スイッチを3秒以上押し続けてください。

音響停止灯(赤)が点灯して連続停止状態になります。

音響停止を解除するときは、もう一度【音響停止】スイッチを押してください。

受信機が保守音響停止時も音響は鳴りません。

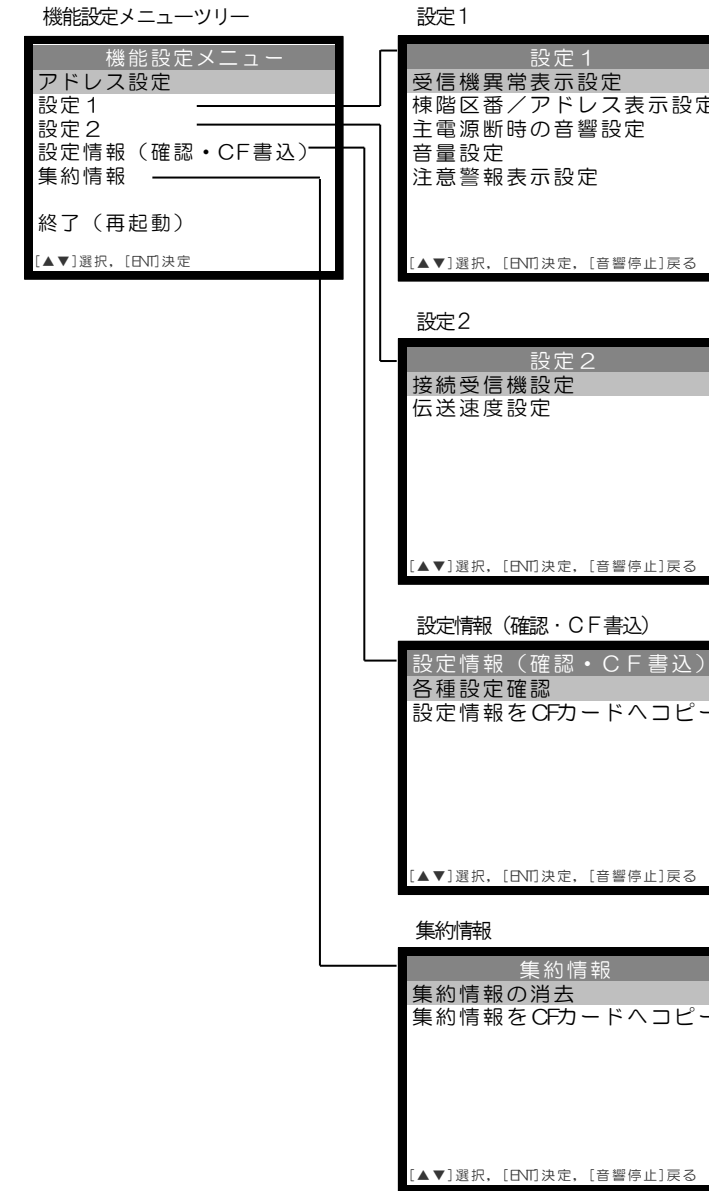
音響停止を解除するときは、受信機の保守音響停止を解除操作してください。

警告	平常時の監視状態では保守音響停止には絶対に設定しないでください。火災時に警報音が出ないため、避難・消火活動が遅れるおそれがあります。
----	--

15. 機能設定メニュー

「機能設定メニュー」の表示方法と操作可能な内容について

- 【ENT】スイッチを押しながら電源スイッチをONにし、「機能設定メニュー」が表示されるまで【ENT】スイッチを押し続けます。
- 【上】【下】でメニューを選択し【ENT】スイッチを押すと、アドレス設定画面または選択したメニューの詳細メニュー選択画面に切り替わります。



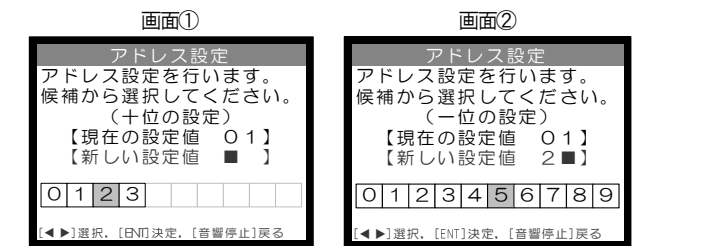
- 各詳細メニュー表示後、【上】【下】でメニューを選択し【ENT】スイッチで決定します。
- メニュー内でのスイッチの役割は下記の通りです。
 - 【上】…項目選択時の上移動スイッチ
 - 【下】…項目選択時の下移動スイッチ
 - 【ENT】…選択項目の決定と設定後に前の階層へ戻すスイッチ
 - 【音響停止】…各項目内の設定を中断し戻るスイッチ

注意	「機能設定メニュー」の設定が正しくない場合、機器が正常に動作しないおそれがあります。
警告	設定の変更は内容を十分に理解して操作してください。不要な設定変更は機器の正常な動作を妨げ、人に危害を与えるおそれがあります。

アドレス設定

本表示機のアドレスを1～31の範囲で設定します。

- 「アドレス設定」を選択すると、画面①を表示します。【左】【右】でアドレス十位の値を選択し、【ENT】スイッチを押します。
- 「アドレス十位」の値が確定し、画面②を表示します。【左】【右】でアドレス一位の値を選択し、【ENT】スイッチを押します。
- 「アドレス一位」の値が確定し画面③のように変更後のアドレスを表示します。確認後【ENT】スイッチを押してください。



※アドレス25に設定した場合の例

- 既設の表示機と交換する場合は交換前と同じアドレスを設定してください。また新設や増設する場合は、受信機の表示機接続台数設定を確認の上、番号の重複や飛び番号のないように各表示機のアドレスを設定してください。

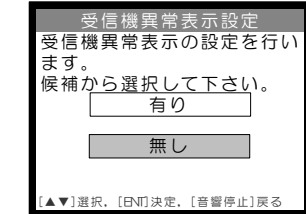
※表示機接続台数設定は106シリーズ、006シリーズ、R-26、R-24ではデータベースにて、それ以外の機種では受信機内のディップスイッチにて設定します。

設定1◆受信機異常表示設定

受信機で異常があった場合に、本機にて異常表示を行うかの設定をします。

- 「受信機異常表示設定」を選択すると、下記のような画面が表示されます。【上】【下】で有り/無しを選択し、【ENT】スイッチを押します。「無し」…受信機の異常を表示しません。(デフォルト設定値)

- 変更後の内容を表示します。確認後【ENT】スイッチを押してください。

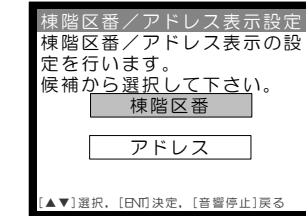


設定1◆棟階区番/アドレス表示設定

本機の地区表示を、棟階区番表示にするかアドレス表示にするかの設定をします。

- 「棟階区番/アドレス表示設定」を選択すると、下記のような画面を表示します。【上】【下】で棟階区番/アドレスを選択し、【ENT】スイッチで決定します。「棟階区番」…地区表示部分に棟階区番を表示します。(デフォルト設定値)

- 変更後の内容を表示します。確認後【ENT】スイッチを押してください。

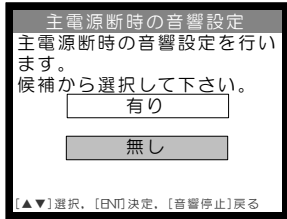


- R-21・R-22Mシリーズ・R-22Sシリーズ受信機に接続する場合は、必ず「アドレス」設定に、106シリーズ、006シリーズに接続する場合は、必ず「棟階区番」設定に切り替えてください。異なる設定のまま運用すると、アドレス情報や棟階区番情報が表示されないため、避難、消火活動が遅れるおそれがあります。

設定1◆主電源断時の音響設定

本機の主電源(AC入力)が断されたときに、音響を鳴動するかを設定します。

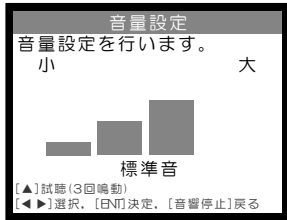
- 「主電源断時の音響設定」を選択すると、下記のような画面を表示し、【ENT】スイッチで決定します。
【上】【下】で有り/無しを選択します。
「無し」…主電源が断しても音響が鳴りません。(デフォルト設定値)
「有り」…主電源が断した際に音響が鳴ります。
- 変更後の内容を表示します。確認後【ENT】スイッチを押してください。



設定1◆音量設定

本機の音量(大音・標準音・小音・極小音・消音)を設定します。

- 「音量設定」を選択すると、下記のような画面を表示し、【ENT】スイッチで決定します。
【左】【右】で音量を選択し、【上】で音の試聴が可能です。※1
- 変更後の内容を表示します。確認後【ENT】スイッチを押してください。



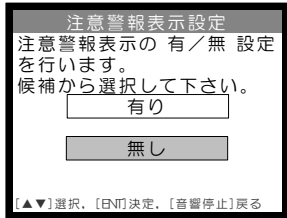
- ※1. 音の試聴を行うと、「ピー 火災発生」が3回鳴ります。鳴動中は音響停止を操作しても停止することはできません。

警告 「消音」設定にした場合、いかなる状況においても本機の音響は鳴りませんので、避難、消火活動が遅れるおそれがあります。

設定1◆注意警報表示設定

本機にてアナログ式感知器の注意警報を表示するかを設定します。

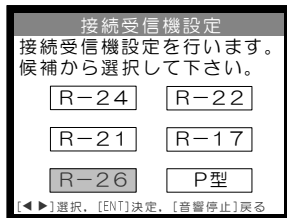
- 「注意警報表示設定」を選択すると、下記のような画面を表示し、【ENT】スイッチで決定します。
【上】【下】で有り/無しを選択します。
「無し」…アナログ式感知器の注意警報を表示しません。(デフォルト設定値)
「有り」…アナログ式感知器の注意警報を表示します。
- 変更後の内容を表示します。確認後【ENT】スイッチを押してください。



設定2◆接続受信機設定

本表示機を接続する受信機を設定します。

- 「接続受信機設定」を選択すると、下記のような画面を表示し、【ENT】スイッチで決定します。
【左】【右】で接続する受信機を選択します。
「R-26」… R-26シリーズ (デフォルト設定値)
「R-24」… R-24シリーズ 「R-22」… R-22シリーズ
「R-21」… R-21 「R-17」… R-17
「P型」… 106シリーズ、006シリーズ
- 変更後の内容を表示します。確認後【ENT】スイッチを押します。



※R-21・R-22Mシリーズ・R-22Sシリーズに接続する場合は、柳階区番/アドレス表示設定にて「アドレス」に設定してください。

※106シリーズ、006シリーズに接続する場合は、柳階区番/アドレス表示設定にて「柳階区番」に設定してください。

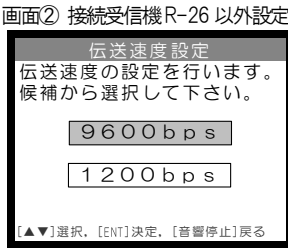
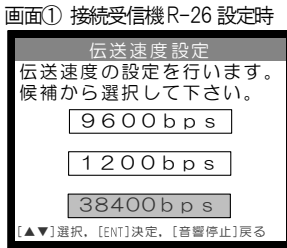
警告 接続受信機設定が正しくない場合、火災警報等を正常に受信できず、避難、消火活動が遅れるおそれがあります。

設定2◆伝送速度設定

本機の伝送速度の設定します。

- 「伝送速度設定」を選択すると、下記のような画面①を表示し、【ENT】スイッチで決定します。
【上】【下】で38400bps/9600bps/1200bpsを選択します。
「38400bps」…38400bpsにて通信を行います。(デフォルト設定値)
「9600bps」…9600bpsにて通信を行います。
「1200bps」…1200bpsにて通信を行います。
- 設定2の接続受信機設定で、R-26以外を選択すると、自動的にデフォルト設定値が9600bpsに設定されます。

- 変更後の内容を表示します。確認後【ENT】スイッチを押してください。



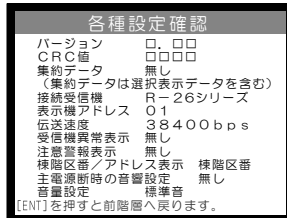
<<注意>>

受信機側の表示機伝送速度と一致するように設定してください。

警告 伝送速度設定が正しく設定されていない場合、火災警報等を受信できず、避難、消火活動が遅れるおそれがあります。

設定情報◆各種設定確認

「13. 保守メニュー」の「各種設定確認」と同じです。



設定情報◆設定情報をCFカードへコピー

本機の設定情報をバックアップのためCFカードにコピーする機能です。

- 本機の電源を落とし、CFカードを差し込みます。「15項 機能設定メニュー」に従って「設定情報をCFカードへコピー」を選択すると、画面①を表示します。
【左】【右】で「はい」を選択し【ENT】スイッチを押します。

注意 CFカードが差し込まれていない場合は、エラー表示します。正しくCFカードを差し込み、コピーをしてください。

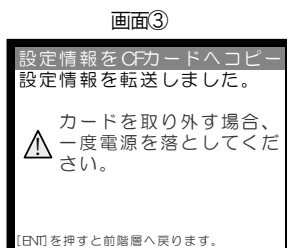
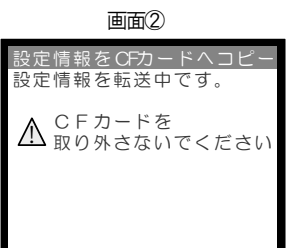
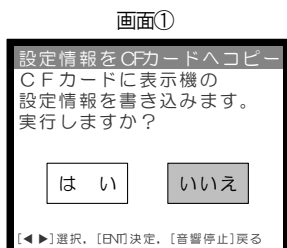
- CFカードヘデータ転送中は、画面②を表示します。

注意 転送中は、CFカードの抜き差し、電源の切断を絶対に行わないでください。データが破損するおそれがあります。

- CFカードヘデータ転送完了後、画面③を表示します。一度電源を切り、カードを取り外してください。

注意 CFカードの取り外しは、電源を切った状態で行ってください。電源が入った状態でCFカードを取り外しますと、データを破損するおそれがあります。

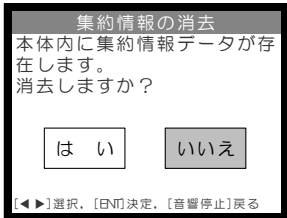
注意 CFカードは別売です。当社指定のCFカードを手配願います。指定以外のCFカードを使用すると、正しく動作しないおそれがあります。



集約情報◆集約情報の消去

本機に書き込まれた集約情報を消去します。

- ※一度消去した集約データを元に戻すことはできません。
- 「集約情報の消去」を選択すると、下のように表示します。
【左】【右】で「はい」を選択し、【ENT】スイッチを押します。
- 集約情報の消去が完了すると、確認画面を表示しますので、確認後【ENT】スイッチを押してください。



集約情報(選択情報含む)◆集約情報をCFカードへコピー

本機内に書き込まれた集約情報(選択情報を含む)をCFカードにコピーする機能です。

- 表示機にCFカードを差し込み、「集約情報をCFカードへコピー」を選択すると、画面①を表示します。【左】【右】で「はい」を選択し【ENT】スイッチを押します。

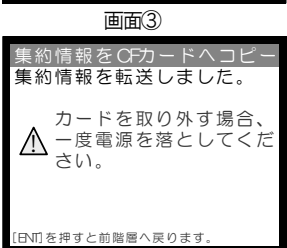
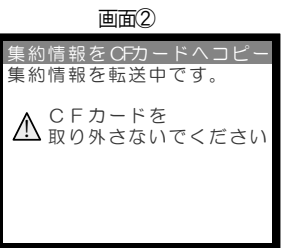
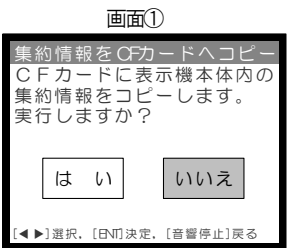
注意 CFカードが差し込まれていない場合は、エラー表示します。正しくCFカードを差し込み、コピーをしてください。

- CFカードヘデータ転送中は、画面②を表示します。

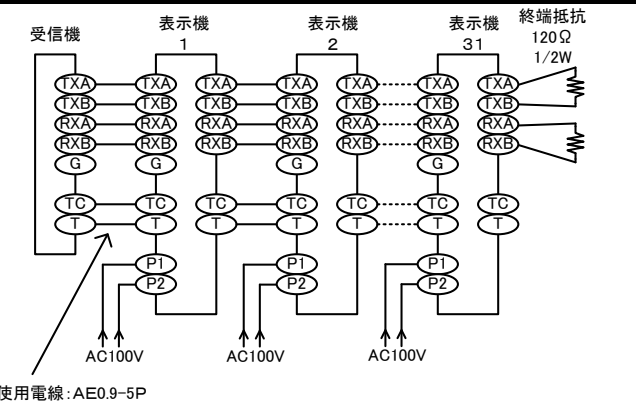
注意 転送中は、CFカードの抜き差し、電源の切断を絶対に行わないでください。データが破損するおそれがあります。

- CFカードヘデータ転送完了後、画面③を表示します。一度電源を切り、カードを取り外してください。

注意 CFカードの取り外しは、電源を切った状態で行ってください。電源が入った状態でCFカードを取り外しますと、データを破損するおそれがあります。



16. 受信機との接続方法

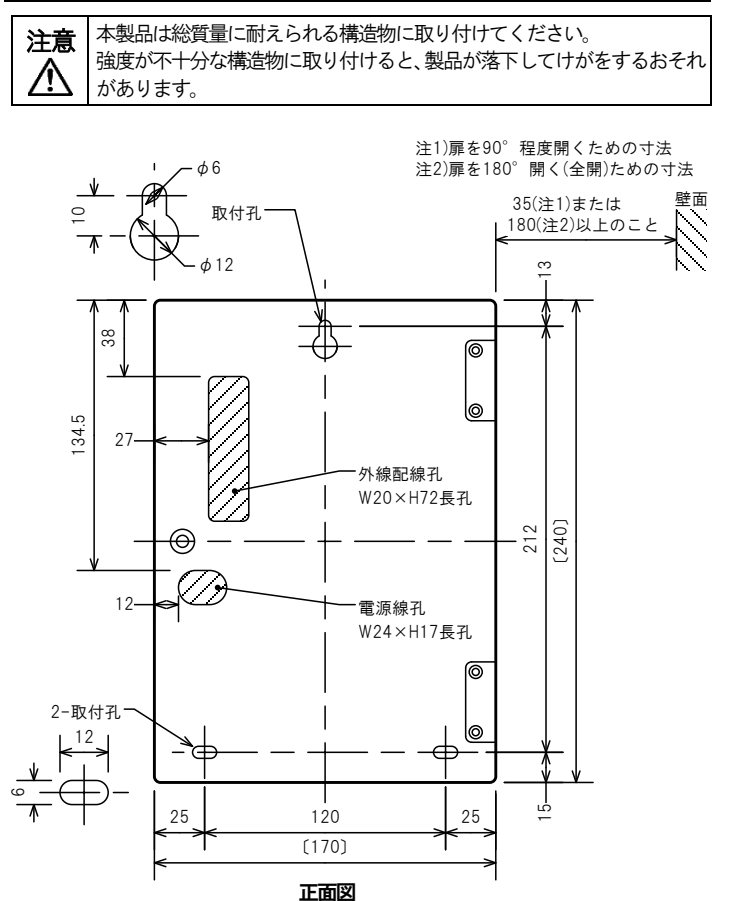


<<注意>>

配線は送り配線接続としてください。結線時には、TXAとTXBをペア線、RXAとRXBをペア線で結線してください。末端のTXAとTXB間およびRXAとRXB間に終端抵抗120Ω(1/2W以上)を接続してください。G端子の接続は不要です。

警告 受信機と表示機の結線は、必ず受信機及び表示機の電源をOFFしてから行ってください。感電や故障のおそれがあります。

17. 取付寸法図



- ①アンカー(M5)または同等品にて壁面に取り付けてください。壁面の強度が弱い場合には、補強材を使用し、取り付けてください。
- ②露出配管の場合には、専用の木座板ZPMJ002-R(別手配)を使用してください。

18. 予備品リスト

●客先予備品		●工事用予備品	
1.0A	KFM20-1 ヒューズ 5個	1.0A	KFM20-1 ヒューズ 1個
2.0A	KFM20-2 ヒューズ 2個	2.0A	KFM20-2 ヒューズ 1個
	ヒューズ抜き工具 1個	120Ω	1/2W 抵抗 2個

お問い合わせは…

NOHMI 能美防災株式会社

本社	〒102-8277 東京都千代田区九段南4-7-3 TEL.(03)3265-0211(代)	丸の内(03)3213-1781
支社	社/北海道(011)746-6911 東北(022)221-2695 新潟(025)243-8121	西関東(042)643-1520
	茨城(029)239-5280 千葉(043)266-0303 北関東(048)669-2255	長野(026)227-5521
	横浜(045)682-4700 静岡(054)340-0013 中部(052)589-3241	中国(082)510-1125
	北陸(076)252-6211 関西(06)6330-8661 九州(092)712-1560	
	岡山(086)244-4222 九州(092)712-1560	
営業所	旭川(0166)25-5600 青森(017)729-0532 盛岡(019)645-0552	秋田(018)862-5086
	郡山(024)947-1194 福島(024)528-4195 羽田(03)5757-9393	渋谷(03)3461-1051
	新宿(03)5990-5770 埼玉(03)3626-2461 土浦(029)822-3851	宇都宮(028)637-4317
	群馬(027)328-1567 埼玉(049)247-4640 沼津(055)955-5227	浜松(053)473-3422
	三重(059)226-9860 岐阜(058)201-3771 富山(076)444-1450	福井(0776)21-0056
	神戸(078)334-3581 四国(087)868-6811 北九州(093)583-3344	長崎(095)845-0135
	熊本(096)360-1051 大分(097)543-2778 宮崎(0985)28-8792	鹿児島(099)253-8196
	沖縄(098)862-4297	
工場	三鷹(0422)44-5141 ヌヌマ(048)588-1531	